

さいたま市インフルエンザ週報(速報)

2022-2023年シーズン 第13週(3月27日~4月2日)

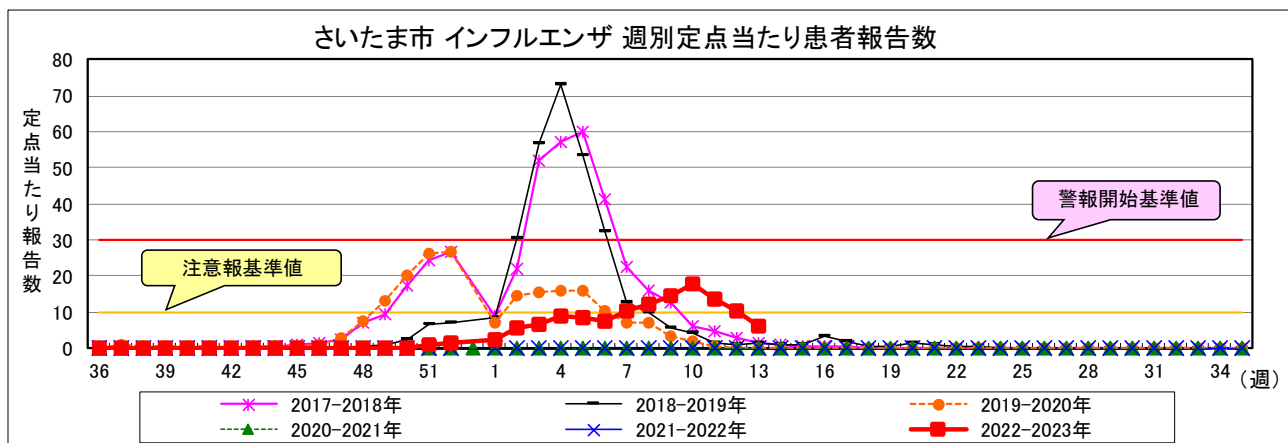
※さいたま市では小児科・内科診療を行っている41か所の定点医療機関の協力によりインフルエンザの流行状況を把握しています。また、基幹定点医療機関(1か所)の協力によりインフルエンザによる入院患者の発生状況を把握しています。

1. 市内のインフルエンザ患者報告状況

定点医療機関からの患者報告数は242人、定点当たり報告数は6.05人となり、注意報レベル(定点当たり10人以上)を下回りました。しかし、流行の目安となる「定点当たり1人」を超えている状況で、流行は継続しているとみられます。

基幹定点医療機関から入院患者の報告はありませんでした。

引き続きインフルエンザの予防のため、手洗いや咳エチケットを励行し、体調の悪いときは無理をせず早めに休養しましょう。



※インフルエンザは通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、9月から翌年の8月までを1シーズンとして、グラフを作成しています。

2. 市内病原体定点等からのインフルエンザウイルス検出状況

2022-2023 シーズン第13週までにおいて、AH3亜型が30件、B型ビクトリア系統が3件検出されています。

国立感染症研究所ウイルス分離・検出速報によれば、2022-2023 シーズン第13週までに全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH1pdm09が31件、AH3亜型が1412件、B型ビクトリア系統が24件となっています。

さいたま市 インフルエンザウイルス検出状況(2022-2023シーズン直近)

検体採取週	集計期間	検出数	インフルエンザウイルス			
			AH1pdm09	AH3亜型(A香港型)	B型山形系統	B型ビクトリア系統
2023年 第10週	3/6 ~ 3/12	5	-	4	-	1
第11週	3/13 ~ 3/19	1	-	1	-	-
第12週	3/20 ~ 3/26	3	-	2	-	1
第13週	3/27 ~ 4/2	-	-	-	-	-

さいたま市 インフルエンザウイルス検出状況(各シーズン合計)

検体採取シーズン	検出数	インフルエンザウイルス			
		AH1pdm09	AH3亜型(A香港型)	B型山形系統	B型ビクトリア系統
2018-2019シーズン	79	21	51	-	7
2019-2020シーズン	62	49	1	-	12
2022-2023シーズン※第13週まで	33	-	30	-	3

★令和5年4月4日13時現在の速報です。

※2020-2021シーズンおよび2021-2022シーズンはインフルエンザウイルス検出がありませんでした。